犬のドゥーガルとブルーキャット（1975）

POLLUX ET LE CHAT BLEU

メディア 映画　アニメ
ジャンル ファミリー
製作国 フランス
色彩 Color
時間 86分
初公開日 1979/07/21
公開情報 日本海

【解説】

フランスのTV界で大人気の犬キャラクター・ドゥーガルを主人公にした、同国で製作の新作アニメ映画。

ある日の夜中、友だちフローレンスや好物の砂糖のことを考えていた犬のドゥーガル。そんな彼は遠くの「美しい森」から怪しい光が出ていることに気づく。その森は、9本の尻尾を持つネコが何やら怪しい作業をしているという工場があるらしい場所だった。やがて森のピンクや赤の花が枯れていき、一方で忘れな草などの青い花だけが咲き乱れる。これは世界を征服しようと考えるくだんのネコ「青い声」の仕業だった。万物が青く染まる中、なぜか元のままの姿のドゥーガルは「青い声」との戦いを決意するが。

1964年から1966年までフランスで400本ものミニシリーズが作られた、大人気の「犬のドゥーガル」。その拡大版で、ブルーキャットは映画オリジナルのキャラクターとして登場。なお本作の監督・脚本を務めたセルジュ・ダノーは、1992年にフランス映画の巨匠ゴダールの作品『映画史』にも出演者として参加している。

【クレジット】

監督 セルジュ・ダノー
脚本 セルジュ・ダノー
音楽 ジョス・バッセリ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.